

4/3/03
RH
#2

Attorney Docket No. 1359.1064

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Satoko SEGAWA, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: February 28, 2002

Examiner:

For: GOODS INFORMATION COLLECTING SYSTEM AND METHOD

jc868 U.S. PRO
10/084358
02/28/02

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s)
herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-367214

Filed: November 30, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the
requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: February 28, 2002

By: 

H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年11月30日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-367214

[ST.10/C]:

[JP2001-367214]

出 願 人

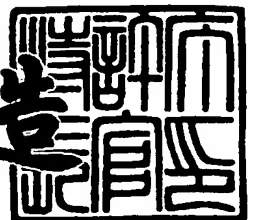
Applicant(s):

富士通株式会社

2002年 2月 1日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3002733

【書類名】 特許願

【整理番号】 0195267

【提出日】 平成13年11月30日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 商品情報収集システム及び方法

【請求項の数】 9

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 瀬川 智子

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 小幡 明彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 110000040

 【氏名又は名称】 特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ

 【代表者】 池内 寛幸

 【電話番号】 06-6361-9334

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 139757

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

特 2 0 0 1 - 3 6 7 2 1 4

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0115801

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品情報収集システム及び方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集システムであって、

前記商品に関する記事の投稿を受け付ける記事投稿部と、

投稿された前記記事を記録して管理する記事記録管理部と、

前記記事に商品に関する情報を関連付け、前記商品に関する情報へのリンクを生成する記事・商品リンク部と、

前記記事を表示する記事表示部と、

表示された前記記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理するログ記録管理部と、

前記操作履歴に基づいて、前記記事による前記商品の販売に対する影響度を算出する影響度算出部と、

前記影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理するポイント生成・管理部とを含み、

投稿された前記記事に対する他のユーザの前記操作履歴に基づいて前記ポイントが生成されることを特徴とする商品情報収集システム。

【請求項 2】 EC サイトにおいて、ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集システムであって、

前記商品に関する記事の投稿を受け付ける記事投稿部と、

投稿された前記記事を記録して管理する記事記録管理部と、

前記記事に商品に関する情報を関連付け、前記商品に関する情報へのリンクを生成する記事・商品リンク部と、

前記記事を表示する記事表示部と、

表示された前記記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理するログ記録管理部と、

前記操作履歴に基づいて、前記記事による前記商品の販売に対する影響度を算出する影響度算出部と、

前記影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理するポイント生成・管理部とを含み、

投稿された前記記事に対する他のユーザの前記操作履歴に基づいて前記ポイントが生成されることを特徴とする商品情報収集システム。

【請求項 3】 ユーザに投稿する権利を付与する投稿権利付与部をさらに含み、

前記記事投稿部において、投稿する権利を付与された前記ユーザからの記事のみ投稿を受けつける請求項 1 又は 2 に記載の商品情報収集システム。

【請求項 4】 前記投稿権利付与部において、前記ユーザの購買記録を保存するユーザ情報管理部をさらに含み、投稿の対象である商品の購入記録が存在する前記ユーザにのみ投稿する権利を付与する請求項 3 に記載の商品情報収集システム。

【請求項 5】 前記影響度を、特定の商品に関する記事の投稿者以外のユーザが前記記事に基づいて前記商品に関する情報にアクセスして前記特定の商品を購入した数又は購入金額に基づいて算出する請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の商品情報収集システム。

【請求項 6】 前記影響度を、所定の期間内における特定の商品に関する売上数又は売上高に対する、前記特定の商品に関する記事の投稿者以外のユーザが前記記事に基づいて前記商品に関する情報にアクセスして前記特定の商品を購入した数又は購入金額の比率として算出する請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の商品情報収集システム。

【請求項 7】 前記ポイント生成・管理部において、前記商品に対する希望アクセス数に対する前記商品に関する記事投稿以前の前記商品に関する情報へのアクセス数の比率に反比例して、前記ポイントを増減する請求項 6 に記載の商品情報収集システム。

【請求項 8】 ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集方法であって、

前記商品に関する記事の投稿を受け付ける工程と、

投稿された前記記事を記録して管理する工程と、

前記記事に商品に関する情報を関連付け、前記商品に関する情報へのリンクを生成する工程と、

前記記事を表示する工程と、

表示された前記記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理する工程と

前記操作履歴に基づいて、前記記事による前記商品の販売に対する影響度を算出する工程と、

前記影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理する工程とを含み、

投稿された前記記事に対する他のユーザの前記操作履歴に基づいて前記ポイントが生成されることを特徴とする商品情報収集方法。

【請求項 9】 ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集方法を具現化するコンピュータで実行可能なプログラムであって、

前記商品に関する記事の投稿を受け付けるステップと、

投稿された前記記事を記録して管理するステップと、

前記記事に商品に関する情報を関連付け、前記商品に関する情報へのリンクを生成するステップと、

前記記事を表示するステップと、

表示された前記記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理するステップと、

前記操作履歴に基づいて、前記記事による前記商品の販売に対する影響度を算出するステップと、

前記影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理するステップとを含み、

投稿された前記記事に対する他のユーザの前記操作履歴に基づいて前記ポイントが生成されることを特徴とするコンピュータで実行可能なプログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワーク上において提供された商品に関する情報に対して、ユーザが当該商品に対する記事を投稿することによって、当該記事の内容が他のユーザの商品選択や購買の意思決定にどの程度影響を与えたのかを示す指標である影響度を求め、それに基づいて当該商品の販売に貢献したユーザに情報提供のインセンティブとなるポイントを付与する商品情報収集システム及び方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

ネットワーク環境の急速な普及によって、一般消費者から商品に関する意見や感想等に代表される他者が購買する際に役立つ情報を収集することが比較的容易になりつつある。代表的な方法としては、特定商品に関してユーザが自由に意見や感想等を書き込むことができる電子掲示板を用いる方法や、特定商品に関して推奨者がどの程度いるのかを測定する方法、例えば各商品ごとに推薦ボタンを準備しておき、ユーザによって推薦ボタンが押された回数あるいは確率に基づいて推奨商品か否かを測定する方法等が考えられている。

【 0 0 0 3 】

これらの方法によって収集された意見や感想、あるいは商品の評価点の集計結果等は、ネットワークを介して広く第三者である一般消費者に公開される。こうすることで、第三者たる一般消費者が、これらの情報を参考にすることにより、より効率的に商品を選択し、購買することができるようになっている。

【 0 0 0 4 】

一方、上述したような方法をネットワーク上で機能させるためには、商品に関する情報を確実に、かつ大量に集めることが重要になってくる。そこで、商品購入者からの評価や意見等の投稿を促す方法として、投稿者に投稿回数等に応じて値引き等のポイントを提供する等の機能を付加することにより、投稿する行為に対するインセンティブを一般消費者に与える方法が良く用いられている。投稿に対するインセンティブが高くなるほど、提供される情報量を確保することが容易になる。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような従来のインセンティブ付与方法においては、投稿回数や投稿量等に基づいてインセンティブの大小を決定しているため、ユーザによっては、故意に簡単な意見を多数投稿することによって、不当なインセンティブを得ることができるという問題点があった。すなわち、ポイント付与サービスを例に説明すると、「良かった」とか、「悪かった」等の簡単な感想を、同一ユーザが、多数回にわたって投稿することにより、当該ユーザに多数のポイントが付与されることになる。

【0006】

これに対して、同一ユーザに対しては、同一商品に関して投稿できる回数を一回に制限する方法や、投稿内容を監視者が定期的に監視することによって、不当にインセンティブを得る意思のあるユーザを特定し、当該ユーザを排除するという方法等が考えられている。

【0007】

しかしながら、前者の方法では真に有効な情報が収集できなくなるおそれがあり、また後者の方法では、不当にインセンティブを得る意思のあるユーザを特定すること自体が困難であるとともに、監視できる範囲は時間的にも物理的にも限定されてしまうことから、完全に当該ユーザを排除することはできないという問題点が残されていた。さらに、その他考えられるいずれの方法についても根本的な解決策ではないというのが現状である

本発明は、上記問題点を解決するために、投稿された情報によって他のユーザに影響を与えた度合に応じてインセンティブを付与する商品情報収集システム及び方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明にかかる商品情報収集システムは、ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集システムであって、商品に関する記事の投稿を受け付ける記事投稿部と、投稿された記事を記録して管理する記事記録管理部と、記事に商品に関する情報を関連付け、商品に関する情報

へのリンクを生成する記事・商品リンク部と、記事を表示する記事表示部と、表示された記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理するログ記録管理部と、操作履歴に基づいて、記事による商品の販売に対する影響度を算出する影響度算出部と、影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理するポイント生成・管理部とを含み、投稿された記事に対する他のユーザの操作履歴に基づいてポイントが生成されることを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

かかる構成により、投稿された記事の内容が、一般消費者たる他のユーザの商品選択に与えた影響度に基づいて、記事投稿に対するインセンティブを付与することができるため、不当な投稿記事を排除することができるとともに、真に有効な情報のみが多数提供されるようになることが期待できる。

【 0 0 1 0 】

また、上記目的を達成するために本発明にかかる商品情報収集システムは、ECサイトにおいて、ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集システムであって、商品に関する記事の投稿を受け付ける記事投稿部と、投稿された記事を記録して管理する記事記録管理部と、記事に商品に関する情報を関連付け、商品に関する情報へのリンクを生成する記事・商品リンク部と、記事を表示する記事表示部と、表示された記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理するログ記録管理部と、操作履歴に基づいて、記事による商品の販売に対する影響度を算出する影響度算出部と、影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理するポイント生成・管理部とを含み、投稿された記事に対する他のユーザの操作履歴に基づいてポイントが生成されることを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

かかる構成により、電子商取引を実現するECサイトにおいても、投稿された記事の内容が、一般消費者たる他のユーザの商品選択に与えた影響度に基づいて、記事投稿に対するインセンティブを付与することができるため、不当な投稿記事を排除することができるとともに、真に有効な情報のみが多数提供されるよう

になることが期待できる。

【 0 0 1 2 】

また、本発明にかかる商品情報収集システムは、ユーザに投稿する権利を付与する投稿権利付与部をさらに含み、記事投稿部において、投稿する権利を付与されたユーザからの記事のみ投稿を受けつけることが好ましい。

【 0 0 1 3 】

さらに、本発明にかかる商品情報収集システムは、投稿権利付与部において、ユーザの購買記録を保存するユーザ情報管理部をさらに含み、投稿の対象である商品の購入記録が存在するユーザにのみ投稿する権利を付与することが好ましい。実際に購入した商品についての投稿のみを収集することができることから、ポイント稼ぎためだけの、有効でない記事の投稿を未然に防止することができるからである。

【 0 0 1 4 】

また、本発明にかかる商品情報収集システムは、影響度を、特定の商品に関する記事の投稿者以外のユーザが記事に基づいて商品に関する情報にアクセスして特定の商品を購入した数又は購入金額に基づいて算出することが好ましい。さらに、本発明にかかる商品情報収集システムは、影響度を、所定の期間内における特定の商品に関する売上数又は売上高に対する、特定の商品に関する記事の投稿者以外のユーザが記事に基づいて商品に関する情報にアクセスして特定の商品を購入した数又は購入金額の比率として算出することが好ましい。実際の売上数又は売上高の増進に寄与した投稿記事を投稿したユーザに対して、より多くのインセンティブを与えることができるからである。

【 0 0 1 5 】

さらに、本発明にかかる商品情報収集システムは、ポイント生成・管理部において、商品に対する希望アクセス数に対する商品に関する記事投稿以前の商品に関する情報へのアクセス数の比率に反比例して、ポイントを増減することが好ましい。投稿記事によって商品購入機会が増加した場合に、当該記事を投稿したユーザに対してより多くのインセンティブを与えることができるからである。

【 0 0 1 6 】

また、本発明は、上記のような商品情報収集システムをコンピュータの処理ステップとして実行するソフトウェアを特徴とするものであり、具体的には、ネットワークを介して商品に関する情報を収集する商品情報収集方法であって、商品に関する記事の投稿を受け付ける工程と、投稿された記事を記録して管理する工程と、記事に商品に関する情報を関連付け、商品に関する情報へのリンクを生成する工程と、記事を表示する工程と、表示された記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理する工程と、操作履歴に基づいて、記事による商品の販売に対する影響度を算出する工程と、影響度に基づいて、投稿者ごとに商品購入に対するインセンティブとなるポイントを生成して管理する工程とを含み、投稿された記事に対する他のユーザの操作履歴に基づいてポイントが生成される商品情報収集方法並びにそのような工程を具現化したコンピュータ実行可能なプログラムであることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

かかる構成により、コンピュータ上へ当該プログラムをロードさせ実行することで、投稿された記事の内容が、一般消費者たる他のユーザの商品選択に与えた影響度に基づいて、記事投稿に対するインセンティブを付与することができるため、不当な投稿記事を排除することができるとともに、真に有効な情報のみが多数提供されるようになることが期待できる商品情報収集システムを実現することが可能となる。

【 0 0 1 8 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムについて、図面を参照しながら説明する。以下、本実施の形態においては、電子商取引をインターネット環境上で行うことができるECサイトにおいて、表示されている商品に関する情報に対して記事を投稿できるシステムを代表例として説明する。図1に、本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムの構成図を示す。

【 0 0 1 9 】

図1において、1は投稿権利付与部を示しており、投稿したいユーザが商品に関する情報を投稿できる条件を具備しているか否かを判断し、一定条件を具備す

る場合にのみ、当該ユーザに投稿する権利を発行するものである。

【0020】

投稿権利付与部1は、具体的には図2に示すように、少なくともユーザ情報入力部11と、投稿権利発行部12とで構成される。

【0021】

まず、ユーザ情報入力部11では、ユーザを特定するために、個人を識別する情報（ユーザID及びパスワード等）がユーザによって入力される。実際の入力画面の一例としては、所定のECサイトにおけるウェブの初期表示画面において、図3に示すようにユーザIDとパスワードを入力するための入力領域30を有することになる。

【0022】

次に、投稿権利発行部12では、入力された個人を識別する情報（ユーザID及びパスワード等）をキー情報として、ユーザ情報データベース10を照会し、既にユーザ情報データベース10に登録されているユーザであるか否かを確認する。そして、既にユーザ情報データベース10に登録されているユーザである場合にのみ、投稿権利を発行し、当該ユーザに対して投稿フォームを含むウェブ表示画面を表示することになる。

【0023】

なお、投稿権利付与のための条件としては、特にこれに限定されるものではなく、個人を認識できる方法で有れば何でも良い。例えば、音声入力による声紋による確認方法であっても良いし、指紋や顔画像によるパターン認識を用いた確認方法であっても良い。

【0024】

また、ユーザ情報データベース10には、顧客を特定する情報を記録しておくことになる。ユーザ情報データベース10のデータ構造の一例を図4に示す。図4においては、ユーザIDとパスワードの他、ユーザが獲得しているポイントサービス用のポイントや、過去に購入した商品を示す商品ID等についても管理の対象としている。なお、ユーザ情報データベース10のデータ構造としては、特にこれに限定されるものではない。

【 0 0 2 5 】

投稿権利を付与するユーザの制限方法の一例として、過去に当該商品を購入したことがあるユーザだけに限定することも考えられる。実際に使用した経験を有する情報のみに限定することで、より具体的かつ有用な情報のみを収集するためである。かかる方法において、投稿することができる権利の確認については、記事の投稿時に行うことができる。

【 0 0 2 6 】

この場合、図 4 に示すようにユーザ情報データベース 1 0 において、各ユーザが過去に購入した商品を示す商品 ID についても記録しておくことで、ユーザが過去に購入した商品に関してのみ、記事を投稿する権利を発行することになる。

【 0 0 2 7 】

また、記事投稿部 2 における投稿画面は、EC サイトにおいて商品に関するページを表示しておき、当該商品をユーザがマウス等によってクリックすることにより表示されるものとする。

【 0 0 2 8 】

次に、2 は記事投稿部を示しており、図 5 に示すような入力画面をウェブ画面上に表示することによって、ユーザが商品に関する記事を入力して送信する部分である。図 5 に示すウェブ画面表示の例においては、商品「ニチニチ草」に関するユーザが投稿すべき内容について、項目ごとに入力領域 5 0 を設けている。

【 0 0 2 9 】

そして、記事投稿部 2 で投稿された内容は、記事管理部 3 において、記事管理データベース 6 0 へ登録され、管理されることになる。図 6 は記事管理データベース 6 0 のデータ構造の一例を示したものである。図 6 においては、商品 ID ごとに、記事内容を表示させる HTML ファイルの名を登録しておくことで、ウェブ上で記事内容を容易に確認することができる形式で保存することになる。

【 0 0 3 0 】

例えば、ユーザ ID “X 0 0 0 1” が購入した商品 ID “B J 6 7 8 1” について投稿された記事内容については、図 6 に示すようにファイル “6 7 8 1 - 0 0 0 1 . h t m l” に保存されており、当該ファイルの内容は、例えば図 7 に示

すようなHTML文として保存されることになる。

【0031】

次に、4は記事・商品リンク部を示しており、記事管理部3において管理されている投稿記事に対して、商品関連情報（商品に関するページ）を対応づけるものである。各記事に対しては、各々1つの商品関連情報を対応付けるものであっても良いし、複数の商品関連情報を対応付けるものであっても良い。また、ECサイト内に商品に関する電子掲示板等を設けることによっても対応付け可能である。

【0032】

そこで、記事・商品リンク部4は、図8に示すように、ユーザが投稿する記事における項目「内容」に記載されているテキストデータと商品に対応付ける記事・商品対応付け部41と、各商品と当該商品に関する情報との対応付けを管理する商品情報管理部42と、投稿されたテキストデータをHTML文に変換し、商品に関する情報をリンクさせるHTML変換部43とを少なくとも備えることになる。

【0033】

まず、記事・商品対応付け部41では、ユーザが投稿する記事が対象としている商品を特定することになる。ユーザが商品を特定する方法としては、様々な方法が考えられる。例えば、あらかじめユーザが投稿対象となる商品を選択する方法や、商品のバーコードを読み取ることで商品を特定する方法、あるいは商品ごとに個別に用意された掲示板を選んで書き込む方法等が考えられる。

【0034】

投稿対象となる商品が特定されたら、商品情報管理部42において、当該商品に対応する商品に関する情報が記録されているファイル名やURL名を抽出し、最後にHTML変換部43において、商品に関する情報が記録されているファイル名やURL名をリンクさせたHTML文を生成することになる。

【0035】

例えば、図9(a)に示すような投稿テキストデータに対しては、図9(b)に示すようにテキストデータの前後に“<html>”及び“</html>”をそれぞれ付

加することによってHTML文に変換すると共に、商品名として特定された“ニチニチ草”を“ニチニチ草”に置換することによって、“HYPERLINK "http://www.fuji.../A.html" http://www.fuji.../A.html”へのリンクを生成することになる。

【0036】

ここで、“\$1=0234-1”はリンク番号を示しており、これを引数として、ユーザがクリックしたリンク先を識別することができる。換言すれば、当該リンク番号を記録しておけば、ユーザがどのような履歴で商品情報にアクセスしたのかをトレースすることが可能となる。

【0037】

次に、5は記事表示部を示しており、電子掲示板等を利用して投稿された内容をウェブ等で表示することになる。例えば、図10に電子掲示板を用いた記事表示の一例を示しているが、このように投稿順に内容を示すと共に、商品に関する情報を取得したい場合に、クリックすることでリンクされている商品に関する情報を表示することができる情報取得ボタン101が用意されている。

【0038】

そして、6はログ記録・管理部を示しており、一般消費者たる他のユーザが、表示された投稿記事を見て、どのような画面操作を行ったのかをログ記録データベース61記録し、管理するものである。

【0039】

ただし、ここでいう一般消費者たる他のユーザについても、ユーザ情報データベース10に登録されているユーザであることを前提とする。したがって、ユーザ情報データベース10に登録されていないユーザが、投稿記事に基づいて商品に関する情報にアクセスしたい場合には、ユーザ情報データベース10への登録処理が完了してから、商品に関する情報が表示されることになる。

【0040】

具体的には、記事表示部5においてウェブ画面上に表示された投稿内容を見て、一般消費者たる他のユーザがどのリンクをクリックしたのかが判別できるよう

に、クリック時にリンク番号をログ記録データベース61に記録することになる。図9(b)の例では、リンク番号“0234-1”がログ記録データベース61に記録される。

【0041】

図11に、ログ記録データベースのデータ構造の一例を示す。図11に示すように、ユーザIDごとに、クリックされたリンク番号の推移をすべて記録することになる。こうすることで、どの商品に対して興味を示しているかが、容易に判断できることになる。

【0042】

そして、7は影響度算出部を示しており、投稿記事の内容が一般消費者たる他のユーザの商品選択に与えた影響の度合を影響度として算出するものである。つまり、影響度算出部7においては、投稿した記事が、当該記事に関連する商品の売上にどの程度貢献したのかを示す指標を、投稿記事の影響度として算出する。

【0043】

すなわち、当該投稿記事に対して他のユーザがアクセスし、当該アクセスによって当該投稿記事に対応する商品の購入に結びついたのかを影響度として求めることになる。

【0044】

具体的には、以下に示すような算出方法が考えられる。まず、ECサイトにおける当該商品が、投稿された記事に基づいて購入された数又は購入金額に基づいて、影響度を算出する方法が考えられる。

【0045】

こうすることで、投稿された記事が、どの程度商品の売上数あるいは売上高に寄与することができたか否かを直接的に評価することができることから、商品の売上数あるいは売上高に寄与することができた記事を投稿した場合に、より大きなインセンティブの付与が期待できることになる。

【0046】

また、ECサイトにおける当該商品に関する全売上数あるいは全売上高を分母とし、投稿された記事に基づいて当該記事に含まれている商品に関する情報にア

クセスし、その後購入するに至った売上数あるいは売上高を分子とした百分率を影響度として算出する方法も考えられる。この場合、付与されるポイントは、1%当たりの所定のポイントに百分率を乗算したものとなる。

【0047】

こうすることで、投稿時において商品の売上数あるいは売上高が低い商品に対して記事を投稿した場合には、当該商品の販売を促進する効果がより高いものと判断できることから、既に売上数あるいは売上高が高い人気商品に投稿した場合よりも、人気のない商品に投稿する方がより大きなインセンティブの付与が期待できることになり、人気のない商品の販売促進という効果が期待できる。

【0048】

なお、売上数あるいは売上高については、一定期間内、例えば1ヶ月や3ヶ月、あるいは半年等の期間について累積することが好ましい。平均的な推移を把握することができるからである。また、所定の期間を設けることなく（所定の期間がゼロである場合）、他のユーザが当該投稿記事に含まれている商品に関する情報に基づいて、当該商品を購入するごとに、影響度を算出するものであっても良い。

【0049】

また、記事を投稿する以前において、当該記事に含まれている商品に関する情報へのアクセス数が、商品を提供する者の希望するアクセス数よりも低い場合に、記事の投稿により希望するアクセス数よりも増えるとより高いポイントを与えるようにすることも考えられる。

【0050】

すなわち、商品に対する人気度が低い商品に対して記事を投稿するほど、その効果に対して高いポイントが付与されることになる。

【0051】

具体的には、当該希望アクセス数を分母として、記事を投稿する以前における当該記事に含まれている商品に関する情報へのアクセス数を分子とした百分率に反比例させて、前記影響度を変動させることになる。すなわち、ここで求めるのは影響度そのものではなく、影響度の変動比率であり、影響度（既に求められて

いるもの) に対して当該百分率を乗算することで、変動した影響度を求めることができる。

【0052】

こうすることで、人気の低い商品に関する記事を投稿し、当該商品に関する情報に対するアクセス数が増大した場合には、通常よりも高いインセンティブの付与が期待できるようになることから、人気の低い商品に関する記事の投稿に対しても、一定の動機付けを行うことが可能となる。

【0053】

そして、8はポイント生成部を示しており、算出された影響度に基づいて、記事を投稿するインセンティブを付与するために提供される値引きサービス等に用いられるポイントを生成し、当該記事を投稿したユーザに付与することになる。

【0054】

なお、当該ポイントと影響度とは、相互に線形に対応する値であっても良いし、あるいは影響度の所定の範囲について一定のポイントを付与するような階段状のポイント生成方法であっても良い。また、生成されたポイントの付与は、ユーザ情報データベース10の内容を更新することによって行われる。獲得したポイントは、当該ECサイトにおいて、ユーザが商品やサービスを購入した際に、割引サービスの享受等に利用することができる。

【0055】

以上のように本実施の形態によれば、投稿された記事の内容が、一般消費者たる他のユーザの商品選択に与えた影響度に基づいて、記事投稿に対するインセンティブを付与することができるため、不当な投稿記事を排除することができるように、真に有効な情報のみが提供されるようになることが期待できる。

【0056】

次に、本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムを実現するプログラムの処理の流れについて説明する。図12に本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムを実現するプログラムの処理の流れ図を示す。

【0057】

図12において、まず投稿を意図するユーザが、ユーザID及びパスワードを

入力し（ステップS1201）、一定条件下において記事に対する投稿権利を付与する（ステップS1202）。そして、投稿権利を付与したユーザからの投稿記事の入力を受けつける（ステップS1203）。

【0058】

次に、投稿記事と、それに関係する商品及び当該商品に関する情報とのリンクを生成し（ステップS1204）、投稿記事をリンク情報と共に表示する（ステップS1206）。

【0059】

そして、第三者が当該記事を閲覧した際に、当該リンク情報に関して操作した操作履歴等のアクセス履歴を記録しておき（ステップS1206）、当該アクセス履歴に基づいて当該投稿記事の影響度を算出する（ステップS1207）。

【0060】

そして、算出された影響度に基づいて、記事の投稿に対するインセンティブとなるポイントを生成し（ステップS1208）、ユーザ情報データベースを更新することで、投稿者であるユーザにポイントを付与することになる（ステップS1209）。

【0061】

なお、本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムを実現するプログラムは、図13に示すように、CD-ROM132-1やフレキシブルディスク132-2等の可搬型記録媒体132だけでなく、通信回線の先に備えられた他の記憶装置131や、コンピュータ133のハードディスクやRAM等の記録媒体134のいずれに記録されるものであっても良く、プログラム実行時には、プログラムはローディングされ、主メモリ上で実行される。

【0062】

また、本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにより生成されたユーザ情報データベース等についても、図13に示すように、CD-ROM132-1やフレキシブルディスク132-2等の可搬型記録媒体132だけでなく、通信回線の先に備えられた他の記憶装置131や、コンピュータ133のハードディスクやRAM等の記録媒体134のいずれに記録されるものであっても良く

、例えば本発明にかかる商品情報収集システムを利用する際にコンピュータ 133 により読み取られる。

【0063】

また、本実施の形態においては、電子商取引をインターネット環境上で行うことができる EC サイトを用いたシステムを代表例として説明しているが、特にこれに限定されるものではなく、電子掲示板を用いた会員制の商取引環境等、他の実施の形態であっても良い。

【0064】

すなわち、EC サイトを用いない商品に関する電子掲示板を活用した口コミサイトである場合、ユーザは EC サイトにおいて獲得したポイントを使用するのではなく、当該口コミサイトの会員番号の提示等により、当該口コミサイトに関連する通常の商店における商品・サービスの購入時において、当該ポイントに基づく購入価格の割引等のサービスを享受することができることになる。

【0065】

【発明の効果】

以上のように本発明にかかる商品情報収集システムによれば、投稿された記事の内容が、一般消費者たる他のユーザの商品選択に与えた影響度に基づいて、記事投稿に対するインセンティブを付与することができるため、不当な投稿記事を排除することができるとともに、商品の販売促進に役立つ真に有効な情報のみが提供されるようになることが期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムの構成図

【図 2】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける投稿権利付与部の構成図

【図 3】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける投稿権利付与部の入力画面例示図

【図 4】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおけるユーザ情報データベースのデータ構造例示図

【図 5】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける記事投

稿部の入力画面例示図

【図 6】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける記事管理データベースのデータ構造例示図

【図 7】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける記事内容を示す HTML 文の例示図

【図 8】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける記事・商品リンク部の構成図

【図 9】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおけるリンク例示図

【図 1 0】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける記事表示部における表示内容例示図

【図 1 1】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおけるログ記録データベースのデータ構造例示図

【図 1 2】 本発明の実施の形態にかかる商品情報収集システムにおける処理の流れ図

【図 1 3】 コンピュータ環境の例示図

【符号の説明】

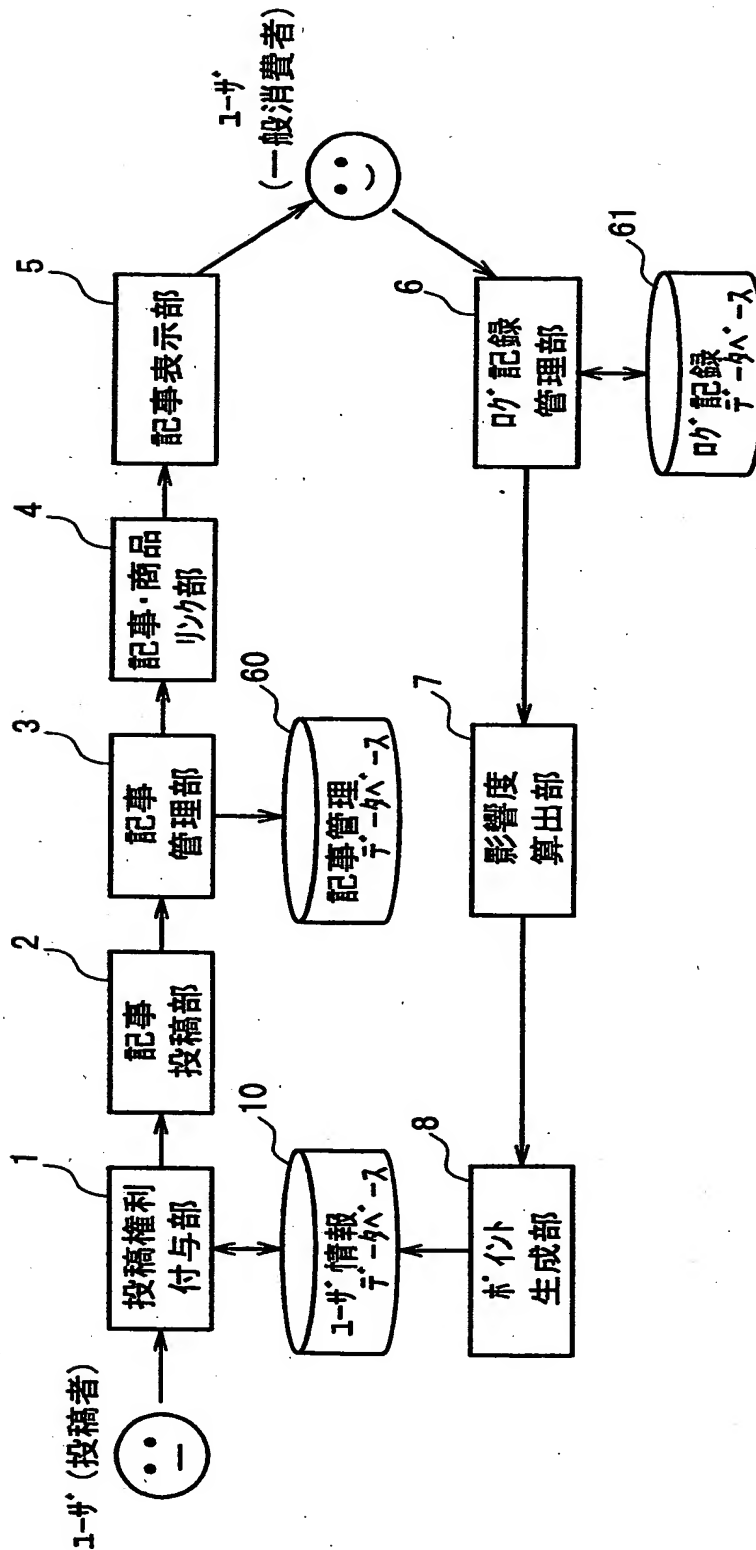
- 1 投稿権利付与部
- 2 記事投稿部
- 3 記事管理部
- 4 記事・商品リンク部
- 5 記事表示部
- 6 ログ記録・管理部
- 7 影響度算出部
- 8 ポイント生成部
- 1 0 ユーザ情報データベース
- 1 1 ユーザ情報入力部
- 1 2 投稿権利発行部
- 3 0、5 0 入力領域

- 4 1 記事・商品対応付け部
- 4 2 商品情報管理部
- 4 3 HTML変換部
- 6 0 記事管理データベース
- 6 1 ログ記録データベース
- 1 0 1 商品情報選択ボタン
- 1 3 1 回線先の記憶装置
- 1 3 2 CD-ROMやフレキシブルディスク等の可搬型記録媒体
- 1 3 2-1 CD-ROM
- 1 3 2-2 フレキシブルディスク
- 1 3 3 コンピュータ
- 1 3 4 コンピュータ上のRAM／ハードディスク等の記録媒体

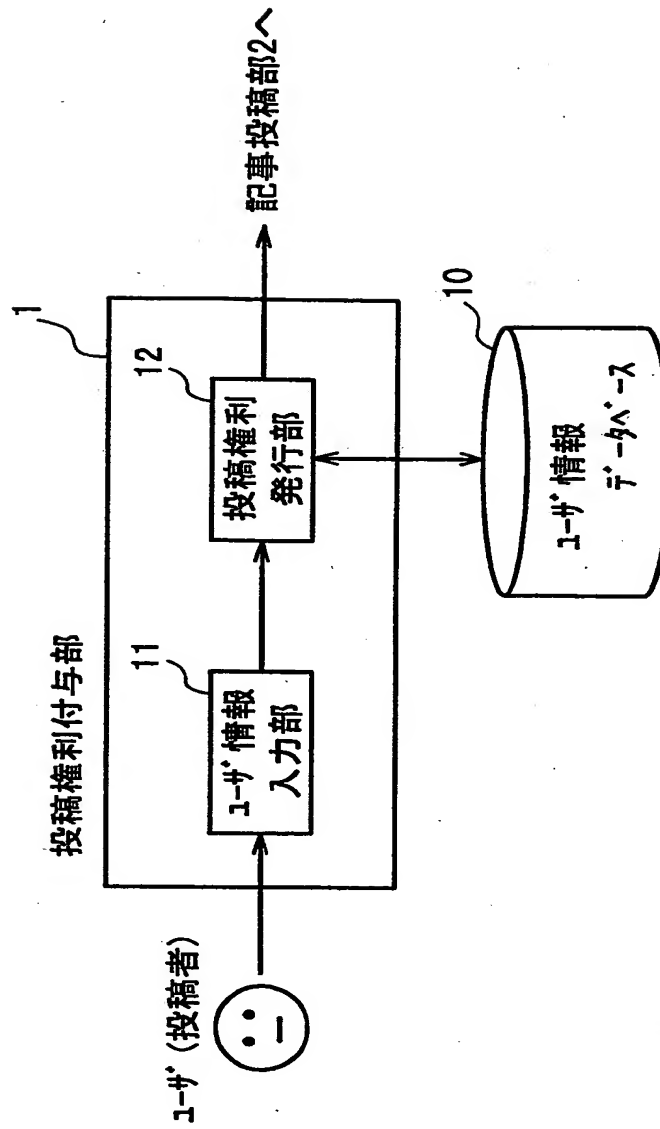
【書類名】

図面

【図 1】



【図2】



【図3】

お客様のIDとパスワードを入力して下さい。

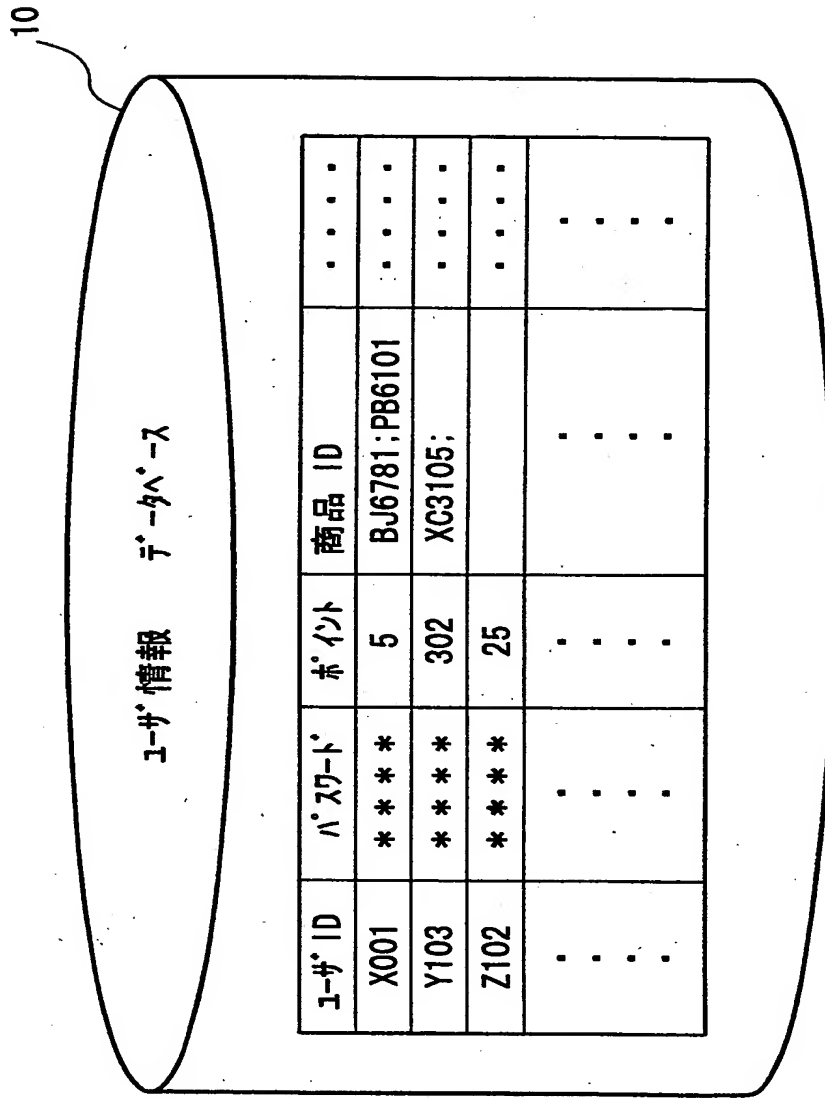
ユーザ ID:

パスワード:

SHOP FUJI

30

【図4】



【図 5】

商品名：ニチニチ草

50

タイトル:

条件:

環境

時期

手入れ:

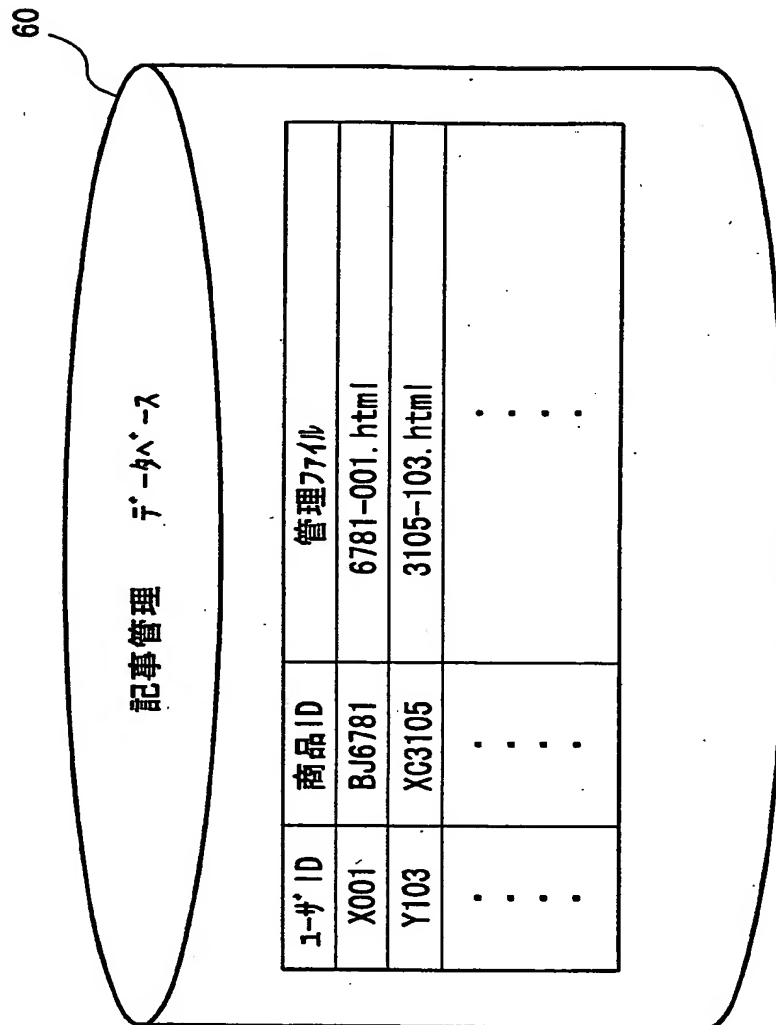
水やり

肥料

内容:

SHOP FUJI

【図 6】

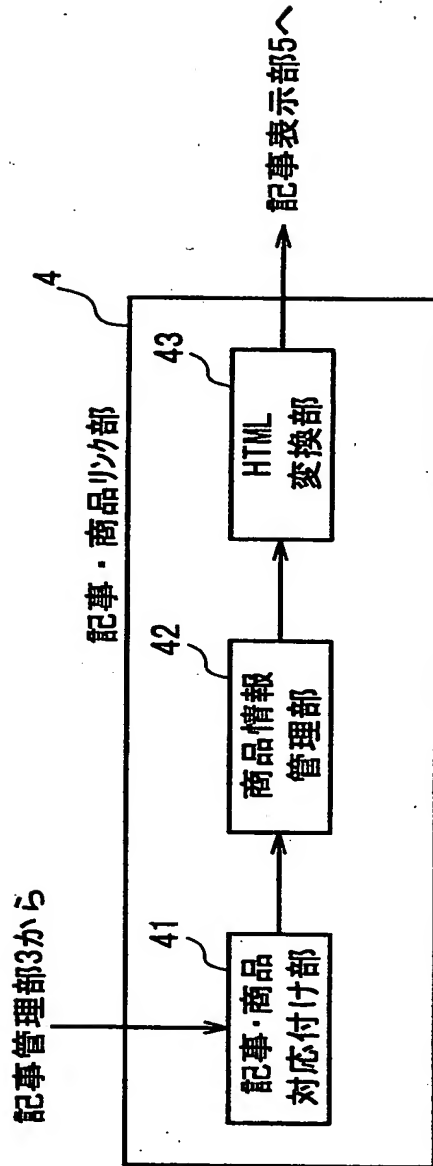


【図 7】

```

<html>
記事No:6781-0001</P>
商品   :ニチチ草</P>
タイトル :花の寄せ植えアイデアについて</P>
環境   :マンション、南向きバルコニー</P>
手入れ : (水やり)2日に1回、(肥料) 液肥10日に1回</P>
時期   : 夏</P>
内容   : 日差しの激しい南向きのバルコニーですが、ニチチ草とボーチ
         力を・・・
</html>
    
```

【図8】



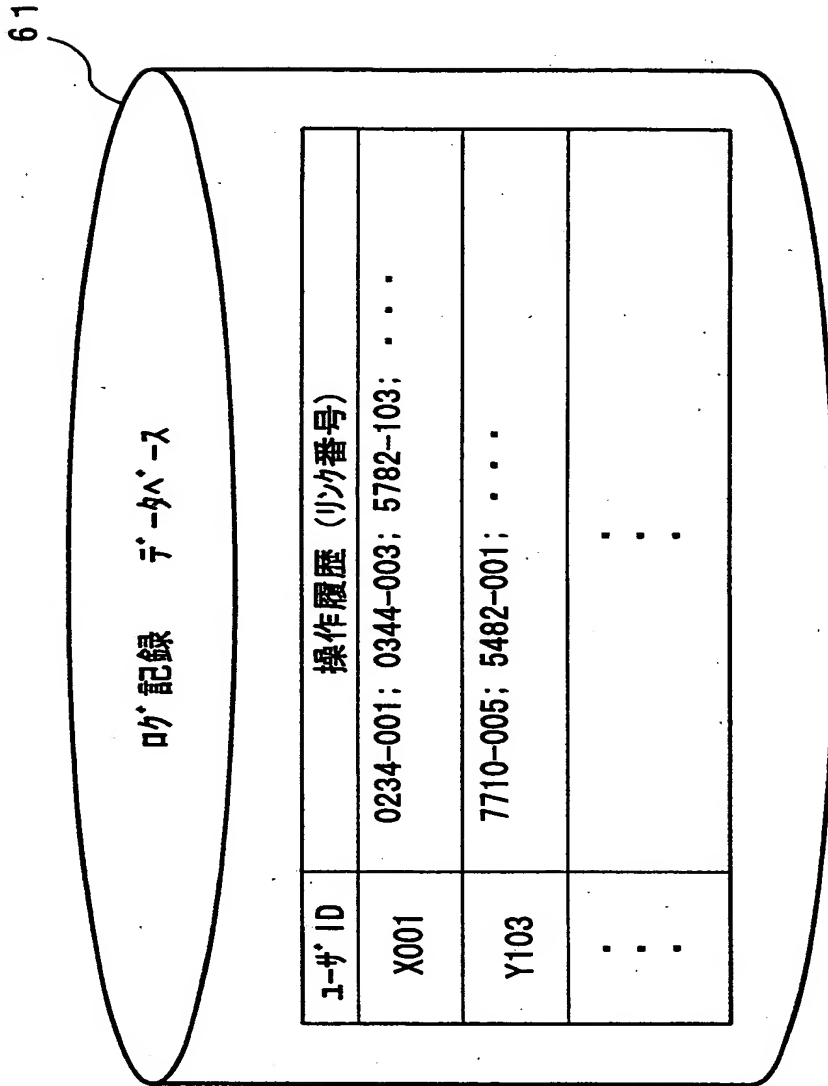
【図 9】

- (a) 日差しの激しい南向きのバルコニーですが、ニチニチ草と
ポトヤカを植えています。
- (b) <html>
日差しの激しい南向きのバルコニーですが、
ニチニチ草
とポトヤカを植えています。
</html>

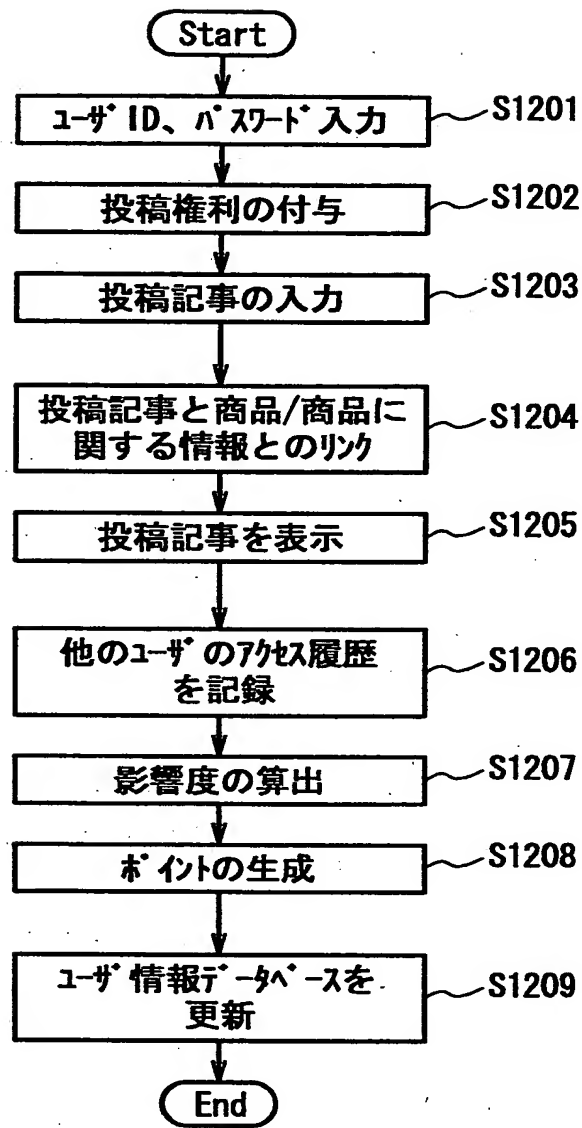
【図 10】

<p>投稿者 : 富士 花子 タイトル : 花の寄せ植えアテアについて 環境 : プランター、南向きバルコニー 手入れ : (水やり) 2日に1回、(肥料) 富士製肥料を10日に1回 時期 : 夏 検索キーワード : かわいい 内容 : 日差しの激しい南向きのバルコニーですが、ニチニチ草を 植えています。水やりも</p>	<p>商品情報</p>
<p>投稿者 : 知- タイトル : 蚊取り草 環境 : 直植え、東向き 時期 : 夏 検索キーワード : ペット、犬 内容 : 犬を飼っている人にはおすすめです。</p>	

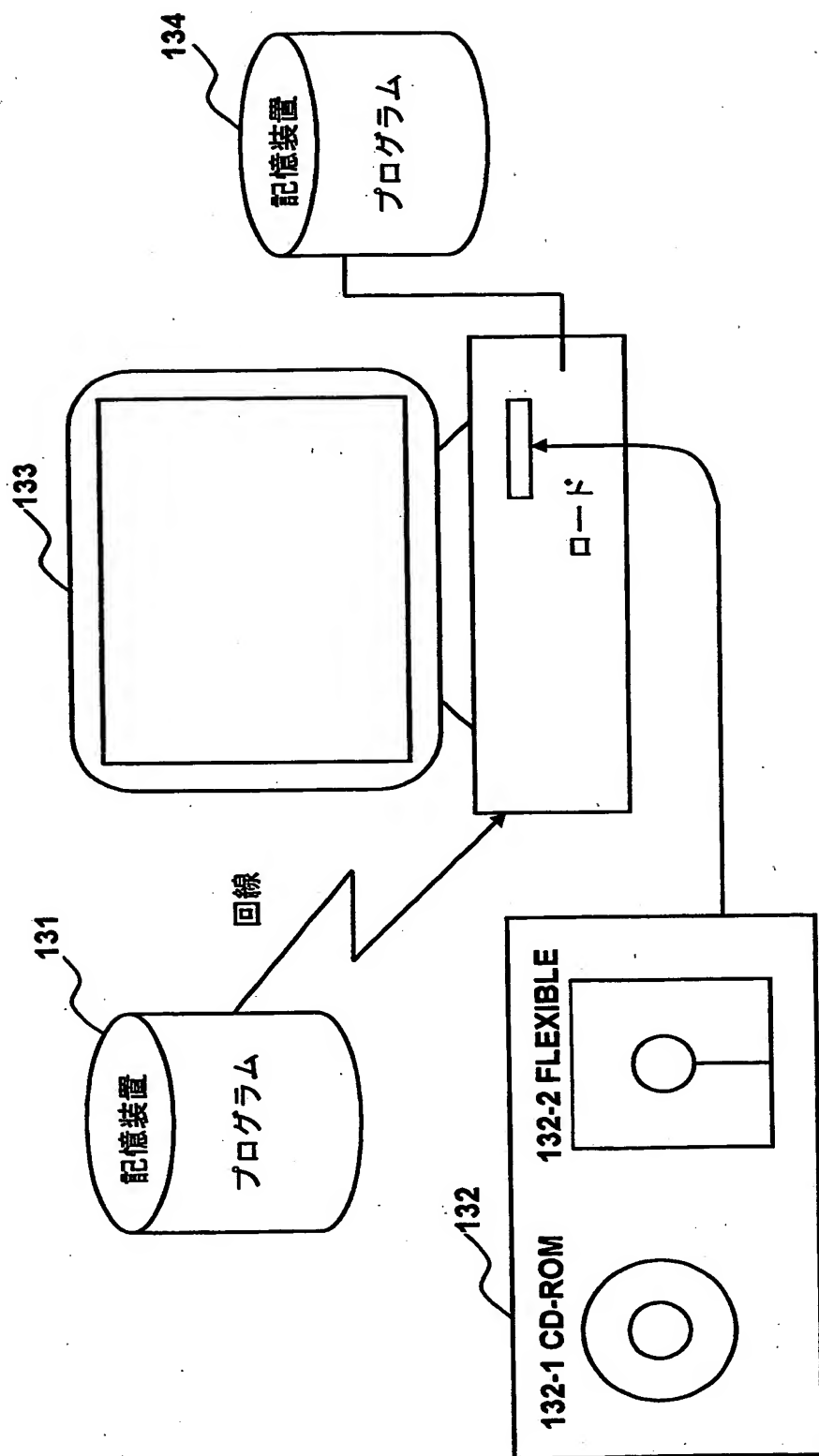
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 投稿された情報によって他のユーザに影響を与えた度合に応じてインセンティブを付与する商品情報収集システム及び方法を提供する。

【解決手段】 ネットワークを介して、商品に関する情報を収集する商品情報収集システムであって、ユーザに投稿する権利を付与し、ユーザが記事を投稿したら、当該記事を記録して管理し、記事に商品に関する情報を関連付け、商品に関する情報へのリンクを生成して、記事を表示するとともに、表示された記事に対する他のユーザの操作履歴を記録して管理し、投稿内容が他のユーザの商品選択に影響を与えた度合を示す影響度を算出してから、算出された影響度に基づいて記事を投稿したユーザに与えるポイントを生成する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社